

近藤内科病院 25 周年記念号



病院開院から四半世紀を迎えて



院長 近藤 彰

医療法人若葉会 近藤内科病院は、2008 年 11 月 12 日で開院 25 周年を迎えることができました。無事に四半世紀(クォーター)を迎えることができたのは 3 つの要素がありました。

1 つは運良く西新浜町に病院を開設したことです。西新浜町は北には園瀬川、眉山があり、東に津田山、西南に大川原高原を眺め、南には多田羅川があり気持ちの良い場所です。この四半世紀、我々の病院とこの街も発展して参りました。この場所に病院を建てようと思ったのはトラ猫のおかげです。モモちゃん(子供たちが夏休みのラジオ体操で拾ってきたトラ猫)の餌を西新浜によく買いに来て馴染みがあったからです。

2 つ目は良きスタッフに恵まれた事です。スタッフは院長の無謀な方針に賛同してくれ、実現する高い能力があった。また、患者さんにはいつも心優しく対応してきました。このスタッフと一緒に楽しく仕事をすることで、徳島では初めての訪問看護・緩和ケア病棟を運営することが出来ました。

3 つ目は多くの良い患者さんに恵まれた事です。ここでは一人の患者さんについてお話したい。真実を語る(true telling) 事が必要であると私に教えてくれた患者さんです。それは 20 年前の梅雨時、外科から紹介された 30 才代前半の男性です。研究者であった A さんは進行胃癌で手術を受けられたが開腹術に終わっていた。当時は末期癌の患者さんには我が国では病名の告知はされておらず、A さんも胃潰瘍の手術をし、痛みは癒着によるものと説明を受けていた。6 月から 5 ヶ月間、外来にて MS コンチン・モルヒネを中心にして痛みの緩和に努め、在宅での療養を続けておられた。しかし、いよいよ痛みが強くなり食べられなくなり 11 月中旬に入院となり、約 1 ヶ月で亡くなられた。12 月中旬、回診時 A さんから「先生、今日の夜時間はありますか？」と尋ねられた。夜病室を訪ねたところ、A さんは「僕の病気は何ですか？」と問われた。私は何となくその問いを予感しており、手術時すでに進行胃癌であり、この 6 ヶ月間疼痛緩和に努めてきました、良く頑張られた、と率直に説明した。A さんは穏やかに「これで全ての事が分かりました。残り時間も少ないですね。」と応じられた。その 3 日後 A さんは旅立たれたわけですが、この経験から死に行く人にも真実を告げるという事が医師の責務であると強く実感した。A さんの経験から、末期癌の患者さんにもなるべく真実を告げるようになり、これらの経験が当院のホスピス緩和ケア病棟の開設につながりました。

我々の病院はこのように多くの貴重な患者さんに恵まれて発展してきました。開設から四半世紀で約 1100 人の方を看取っております。当院を信頼していただいた患者・家族の皆さんに感謝申し上げます。

今日からの四半世紀の目標ですが、我々の病院は小さくてもキラリと光る病院でありたいと思っています。その実現には 3 つの要因が必要です。その 1 つは地域性、2 つは専門性、3 つは公共性と考えております。職員一同と共にパブリックマインドをもって仕事をしますので、今後とも皆様どうぞ宜しくお願いします。

(院長 近藤彰)

25周年を迎えて



看護部長
谷田 典子

近藤内科病院が25周年を迎えられたことを職員の一人としてうれしく思うのと同時に、「わかば通信」25周年号の原稿依頼を受け、私もこの病院へ就職して20年が経過したことを実感し、この20年間のことを振り返る機会となりました。

スタッフの一員としてこの病院へ就職した頃は、看護師としての経験も浅く、患者の皆様にはいろいろ迷惑を掛けたこともあったと思いますが、患者の皆様や御家族の方から掛けていただく言葉が毎日の励みになり、また医療・看護の教科書や研修では決して学ぶこともできない様々なことを教えていただきました。患者の皆様や御家族の方とたくさんお話をさせていただいたことで、看護師としてまたひとりの人として成長することができたと思っています。

また看護師長・看護部長として勤務するようになってからは、徐々に直接患者の皆様の看護をさせていただく機会は少なくなりましたが、以前に看護をさせていただいた患者の皆様や御家族の方からお声をかけていただくことがとてもうれしく、今までこの病院で看護師を続けてきてよかったと感じる瞬間です。

近藤内科病院の25周年、私が就職してからの20年、この間にはいろいろな変化がありましたが、その変化に対応していくために目の前にある問題を解決しその時の流れについていくことにただ一生懸命であったように思います。2002年に病院が新築移転し緩和ケア病棟が開設されましたが、私は看護師長としては経験も乏しい時期であり、移転や病棟の開設など初めてのことばかりでそのときはいろいろ大変だったのですが、今そのときのことを思い出してみると当時のスタッフと苦勞しながらいろいろなことを成し遂げていったことが懐かしく思えます。いつもどんなときも常にスタッフと協力し合い、助けられながらいろいろなことを乗り越えてくることができたと思っております。また私が看護師長・看護部長となってからは、いつも先を見て前向きに進まれる院長に助けられ後押しをしていただきながら、看護部のリーダーとしての役目を私なりに果たすことができたと思っています。

今後も医療の現場は進歩・変化していくと思いますが、近藤内科病院の院是である「患者の皆様が最良の医療が受けられるように」、看護部長としてスタッフと協力しながら日々努力をしていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお祈りいたします。
(看護部長 谷田典子)



ホスピス認定看護師
松岡 由江

近藤内科病院が開院25周年を迎えられた事を心から嬉しく思います。私が就職した平成11年当時から、近隣住民のかかりつけ医としてだけでなく多くのがん患者様やそのご家族を支援され、徳島県で初めての緩和ケア病棟が開設された近藤院長をはじめ、これまで近藤内科病院を支えてこられた医療スタッフやボランティアの方々のお力添えがあり今日を無事に迎える事が出来たと思っております。

私は平成11年に当院に就職し今年で10年目を迎えました。平成14年の緩和ケア病棟開設と同時に配属となり多くの患者様・ご家族と出会え、看護師としてだけでなく一人の人間としても成長する事が出来たと思っています。開設当時はスタッフ全員が未経験の領域に足を踏み入れ、ケアをするスタッフもケアを受ける患者様も緩和ケアに関する知識は浅く不安や心細い気持ちでいっぱいでした。スタッフ一同惜しみない愛情と努力を武器に、残された最期の時を共に喜び共に涙しながら患者様が最期まで生きていく事を支えてきました。多くの患者様がこの病棟で最期の誕生日や結婚記念日を迎えられ、久しぶりの食事や入浴を楽しみ、様々な季節行事により時の移り変わりを感じる事で、力強く生きている事を実感されたと思います。そして私たちも看護する喜びを感じ、必ずしも旅立つ事が悲しい出来事ではないことを学ぶ事ができました。

がん医療は大きな変革期を迎えています。日本看護協会が、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師を育成する事を目的に認定看護師制度を発足させました。私も日本看護協会神戸研修センターにて半年間の研修を受け、平成17年より緩和ケア認定看護師として活動しています。日々の看護ケアだけでなく、徳島にもっと緩和ケアが普及し多くのがん患者様・ご家族に適切なケアが提供できるよう啓発活動にも努力したいと考えています。

これからも近藤内科病院で過ごされる患者様・ご家族が「この病院に来て本当によかった」と思って頂ける様、皆様との出会いに感謝し、技術だけでなく心も成長し続けていきたいと思っています。

今後も皆様のご指導・ご支援をよろしくお祈りいたします。
(緩和ケア病棟 看護師 松岡由江)

近藤内科病院のあゆみ

1983年11月12日 徳島市西新浜町2丁目4番28号に近藤内科[19床]新築開院

1987年4月1日 近藤内科病院[40床]開院、増床

1988年4月1日 医療法人若葉会開設
医療法人若葉会 近藤内科病院開院

1995年7月3日 医療法人若葉会 わかば訪問看護ステーション併設

2002年4月1日 徳島市西新浜町1丁目6番25号に新築移転

緩和ケア病棟[ホスピス徳島]新設
増床[一般病棟35床・緩和ケア病棟20床]
地域予防医学センター併設
電子カルテ・オーダーリングシステム導入

2003年11月20日 日本医療機能評価認定





事務部主任
続 陽子

私は近藤内科病院が 10 周年の年に事務部に就職しました。

今年が 25 周年という事で 15 年もの月日を近藤内科病院で勤務してきた事に自分でも驚いています。

私が就職した頃の近藤内科病院は一般内科病棟のみの 40 床の病院でした。外来はものすごく忙しく入ったばかりの私にとっては、かなりハードな職場でありました。その反面地域の住民の方々に慕われたすごく地域性のある温かい病院だなと思った事を覚えています。特に院長は女性(60 歳台以降位でしょうか?)の患者様からは絶大な支持を受けており、「院長先生の顔を見たら病気が治る」という様な言葉をよく耳にしました。そんな病院で働き出して業務にも慣れ、患者様とのコミュニケーションもとれる様になり、自分自身仕事を落ち着いてこなせるようになったなど思っていた時期位に病院の移転が決定しました。そして、それを機会に緩和ケア病棟の開設及び電子カルテを導入するという事でまたまた、言葉では説明出来ないくらい忙しい日々が始まりました。

平成 15 年 4 月、徳島県内で初めての緩和ケア病棟開設、そして県内でも数件しか導入例がない電子カルテ・オーダーリングの導入が実現しました。

私は電子カルテ導入を担当させて頂きましたが、導入できたという達成感が大変な時期の事をいい思い出に代えてくれました。また、事務部の組織性もずいぶん変わり、何もかも手書き中心だった業務がパソコン主体の業務になりました。まさに最初は機械に使われているといった風でしたが、軌道にのると案外便利に感じられるようになりました。今後もっと、事務部はあらゆる面で進化していくと思います。

それからの近藤内科病院は予防医学にも力を入れ、健診施設・消化器内視鏡センターの増設、消化器科、乳腺・甲状腺科等の専門医による外来や化学療法の開始、さらに四国で初めてのカプセル内視鏡検査の実施等、めまぐるしく発展してきた現在に至り 25 周年を迎えています。そしてこれからもその発展はずっと続いていき、地域の住民の方々はもとより遠方にお住いの方々にも常に最新の医療が提供できる病院であり続けたいと思います。

私はそんな病院で働き続ける事ができる限り、病院とともに時代の流れを敏感に感じ取り、常にチャレンジ精神を持ち前進していく事でほんの少しでも病院の発展に繋がるような仕事をしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。(事務主任 続陽子)



事務部
鳴滝 直子

平成 9 年 10 月 1 日、ドキドキしながら初出勤をしました。病院はまだ旧病院の時で、オープンになった受付には、次々と患者さまが受付をされていました。私は紙カルテがなかなか用意できず訳が分からずバタバタし、質問に回答できるだけの知識のなさが悔しく、病院事務という職種がとても衝撃的なものだった事を思い出します。

勤務して4年後には、病院移転と共に電子カルテが導入され事務処理がスムーズ化しました。また緩和ケア病棟設立、日本医療機能評価機構認定、癌検診・消化器内視鏡センター開設、在宅ホスピスケアセンター開設、そして現在 2 度目の機能評価を共に携わることができました。

この 11 年間で IT 化が進み、専門外来も増え病院は時代と共に前進しています。私もその道に乗り遅れることなく、事務部の理念を元に、常に患者さまが最良の医療が受けられるように、病院と地域社会をつなぐ窓口として、今後も共に前進していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。(事務部 鳴滝直子)



- 2004 年 2 月 日本建築学会学会選奨受賞
- 2005 年 9 月 在宅ホスピスケアセンター併設
(わかばデイサービスセンター・グループホームわかば)
- 2006 年 1 月 癌検診・消化器内視鏡センター併設
- 2007 年 4 月 乳腺・甲状腺外来開始
わかば託児所開設
- 2007 年 10 月 カプセル内視鏡導入
- 2007 年 11 月 ホスピス徳島癌基金が NPO 法人に認定
- 2007 年 12 月 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 2008 年 7 月 電子カルテシステムの更新
- 2008 年 9 月 日本医療機能評価受審



●2009年 外来担当医師時間割(H21.1 現在)

	月	火	水	木	金	土	
午前	1 診	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)	
	2 診	近藤亮※1 (消化器科)	斎藤 (胃腸科)	近藤亮 (消化器科)	近藤亮 (消化器科)	西田 (内科)	
	3 診		六反※2 (循環器科)	栗飯原※3 (代謝・内分泌科)		荒瀬※5 (緩和ケア科)	吉本 (糖尿病)
	4 診			三木 (乳腺・甲状腺科)	森本 (乳腺・甲状腺科)		三木 (乳腺・甲状腺科)
午後	1 診	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)		岸※4 (循環器科)	近藤彰 (総合内科)	近藤彰 (総合内科)
	2 診	近藤亮 (消化器科)	斎藤 (胃腸科)	近藤亮 (消化器科)	西田 (内科)		
	3 診			荒瀬 (緩和ケア科)			吉本※6 (糖尿病)
	4 診	三木 (緩和ケア科)		三木 (乳腺・甲状腺科)			三木 (乳腺・甲状腺科)

※1 10:30～13:00 ※2 9:00～12:30 ※3 9:00～10:30 ※4 第1・3・5木曜の15:00～17:00 ※5 再診のみ ※6 14:30～16:00

エコー	検査技師	検査技師 栗飯原※3	検査技師	検査技師	検査技師	検査技師
内視鏡	近藤亮※1 斎藤※2	近藤亮	斎藤	斎藤※4 近藤亮※5	近藤亮	近藤亮※6

※1 9:00～10:00 ※2 10:30～ ※3 14:30～18:00 ※4 9:00～16:00 ※5 16:30～18:00 ※6 午前のみ

●2009年 健康教室

1月の健康教室

『カプセル内視鏡』 日時:1月15日(木)15:00 場所:3階カンファレンスルーム 講師:近藤亮医師

2月の健康教室

『高脂血症』 日時:2月14日(土)14:30 場所:3階カンファレンスルーム 講師:吉本勝彦医師

3月の健康教室

3月の健康教室は第3回徳島がんセミナーとします

●第3回徳島がん市民セミナー

第3回徳島がん市民セミナーでは、「がんの早期発見・治療」と題して、主に大腸癌、乳癌の早期発見、治療について下記の先生にご講演いただきます。皆様是非ご参加下さい。

日時:平成21年3月8日(日)10時

場所:徳島県医師会館

講師:亀田総合病院附属幕張クリニック 光島 徹 先生 ・ 松江赤十字病院 村田 陽子 先生

●行事予定

2月 節分お茶会 緩和ケア病棟にて

3月 雛祭りお茶会 緩和ケア病棟にて

皆様からのご意見をお待ちしております

わかば通信に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

本広報誌をより良くするために皆様からの率直なご意見をお寄せ下さい。

【近藤内科病院 広報委員会】